

南北朝の動乱と室町幕府

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

今日の問い

建武の新政はなぜくずれ、室町幕府はどのようなしくみで政治を行ったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 建武の新政と南北朝の動乱

南北朝の争い

- 1 1334年、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治。

- 2 建武の新政に反発して兵を挙げ、京都に別の天皇を立てた武士。

- 4 京都の北朝と吉野の南朝が対立した、約60年間。

- 3 後醍醐天皇が移り、南朝を開いた奈良県の山あいの地。

鎌倉幕府がほろびると、後醍醐天皇は1334年、天皇が自ら政治を行う ¹ _____ を始

めた。しかし、公家を重んじる政治を進めたうえ、倒幕に加わった武士への恩賞も不公平だったため、武士の不満が高まり、新政は2年あまりでくずれた。

武士の不満を背景に兵を挙げた ² _____ は、京都に新しい天皇を立てた(北朝)。後醍醐天皇は奈良の ³ _____ に移り、自分こそが正しい天皇だと主張した(南朝)。二つの朝廷が対

立する ⁴ _____ は約60年続き、争いは全国に広がった。

各地の武士は北朝方と南朝方に分かれて戦い、味方する側を変えながら領地を広げようとする者もいた。こうした争いの中で、各地の武士をまとめる守護の力が強まっていった。

2 室町幕府のしくみと足利義満

幕府のしくみ

- 8 権限を強め、国を自分の領地のように支配するようになった守護。

- 9 室町幕府で將軍を補佐した役職。有力な守護大名がついた。

- 5 室町幕府の3代將軍。1392年に南北朝を一つにまとめた。

1338年、足利尊氏は北朝から征夷大將軍に任じられ、京都に幕府を開いた。3代將軍の ⁵ _____ が京都の室町に「花の御所」とよばれる屋敷を建てて政治を行ったことから、この幕府を ⁶ _____ という。義満は1392年、南朝と北朝を一つにまとめた(⁷ _____)。

争乱の中で守護は権限を強め、国内の武士を家来にして、国を自分の領地のように支配する ⁸ _____ に成長した。將軍を補佐する ⁹ _____ には有力な守護大名がつき、関東には鎌倉府が置かれた。幕府は、守護大名の力に支えられていたのである。

1334年
建武の新政
2年あまりでくずれる

足利尊氏が北朝、
後醍醐天皇が南朝

南北朝時代
(約60年)

7 1392年
足利義満

できた / 9